

## 令和7年度 事業計画

薬剤師・薬局を取りまく環境はこの数年で大きく様変わりしています。医療DX推進の名の下、医療制度のデジタル化対応が進み、我々の業務においてもその対応に向けた体制整備が進められているところです。令和7年度は医療DXの活用がさらに推進され、個々の薬局においても具体的な運用が進むことが予想されます。そこで、薬剤師がより専門性を発揮して、適切な調剤、要指導医薬品・一般用医薬品の提供とともに、個々の患者、利用者に合った薬剤師サービスを提供することが重要です。東京都薬剤師会としては、会員の方々がこれらの変化に円滑に対応できるよう事業計画を立て会務を進めてまいります。また、2025年は地域包括ケアシステム構築の最終年であり、2035年を目指した「患者のための薬局ビジョン」の中間年の位置づけの年に当たります。これまでの実績の検証とこれから先どうあるべきかも含めて、東京都薬剤師会として意見をまとめ、具申してまいります。

さて、会員への情報伝達は、重要な業務であり、今後ともさらに迅速かつ新鮮さ及び正確さを備えて会員各位にお届けすることが求められています。令和7年度はXも含めた都薬の広報活動、情報伝達の充実を図ってまいります。

生涯学修への支援については、当会は研修認定機関として認証（G26）を取得し、「生涯研修認定制度」を運用して、本会会員のみならず全国の薬剤師から認定薬剤師の申請を受付けております。今年度は、その認知度を高めるとともに、研修プラットフォームを構築し、t-MYLSを含めたWebを活用した研修受講や認定単位の管理等について利便性の高い制度となるよう引き続き充実を図ってまいります。

薬物乱用防止啓発事業につきましては、いわゆる一般用医薬品のオーバードーズ問題について東京都と連携してまいりました。そして令和6年度に当会と警視庁、日本薬剤師会、くすりの適正使用協議会の4者での覚書を取り交わしました。令和7年度は学校薬剤師を中心として活用できる啓発資材の作成も行ってまいります。

セルフケア・セルフメディケーションに対する薬剤師の取り組みに関しまして、今後もより一層の推進が求められていることから、都民に対する適切な医薬品提供体制を構築するべく、研修会等の事業を進めてまいります。

災害対策では、地震のみならず水害等についても考えていかなければなりません。安否確認システムをはじめとした対応可能な連絡体制のさらなる整備を進めてまいります。また、地区薬剤師会に向けて行っている災害対応向上事業である「災害時薬事活動リーダー研修」も逐次ブラッシュアップしながら引き続き行ってまいります。

今年度の活動テーマは、

「2025年のその先へ～すべてのライフステージで必要とされる薬剤師を目指して～」とし、

- 都薬生涯研修認定制度の利用促進と都薬生涯学修プログラムの拡充
- 災害時医療救護に係る「災害薬事コーディネーター」等の養成と連絡体制の整備
- 都民に対する一般用医薬品の適正使用の啓発
- セルフケア・セルフメディケーション推進による適切な医薬品提供体制の構築
- 切れ目のない薬物療法の提供に向けた薬・薬連携の推進
- 次世代薬剤師育成事業の実施
- 対人業務の充実に向けた医療DX化への対応

これらを事業の重点項目と定めて会務を進め、都民に対しては、住み慣れた地域の中で健康な生活を安心して過ごせるよう、医薬品の供給や健康情報の発信等の切れ目のない提供体制を確保し、以下の各事業への取り組みを推進します。

## 1. 薬剤師行動規範並びに薬事・医療関連法規の趣旨の周知と遵守の徹底

## 2. 薬剤師職能及び薬局機能対策

### 2-1 薬剤師資質向上対策（薬学振興対策）

- (1) 「患者のための薬局ビジョン」を踏まえた、かかりつけ薬剤師育成事業の実施
- (2) 禁煙支援薬剤師認定制度の推進
- (3) 都薬生涯研修認定制度の利用推進と都薬生涯学修プログラムの拡充
- (4) 日本薬剤師会生涯学習支援システム(JPALS)の利用推進
- (5) 薬学講習会等各種講習会の開催
- (6) 認定実務実習指導薬剤師の養成・更新及び次期改訂内容を踏まえた薬学教育カリキュラムに基づいた実務実習の充実
- (7) 地区薬剤師研修会への支援と都薬アワーの実施
- (8) 学術倫理特別委員会の実施・運用
- (9) 次世代薬剤師育成事業の実施
- (10) オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会の実施等、女性の健康への支援

### 2-2 薬局機能の充実対策

- (1) 「地域連携薬局」、「専門医療機関連携薬局」の認定に向けた事業の実施と支援
- (2) 健康サポート薬局の取得に向けた事業の実施と支援
- (3) 基準薬局の認定・更新
- (4) 実務実習受入れ態勢の整備と適正な実施
- (5) 薬局業務研修会の実施
- (6) 薬機法に対応した医薬品等の適正使用の推進及び供給体制整備等に関する周知徹底に資する資料提供
- (7) 健康サポート薬局に取り組む薬剤師への研修会 A 及び研修会 B の実施と各地区での実施への支援
- (8) 登録販売者研修会への協力
- (9) 高度管理医療機器等営業所管理者等継続研修の実施
- (10) 医薬品流通のための連絡協議会の開催
- (11) 薬局製剤・OTC などセルフケア・セルフメディケーションの推進による健康サポート機能、適切な医薬品提供体制構築
- (12) 休日・夜間等における医薬品供給体制の整備・拡充

### 2-3 地域医療対策

- (1) 東京都の保健医療計画等各種計画への積極的な対応
- (2) 東京都保健医療計画に対応する地域医療構想調整会議への参加と協力
- (3) 切れ目のない薬物療法の提供に向けた薬・薬連携の推進
- (4) 地域包括ケアシステムへの参画に向けた在宅医療・介護提供体制の整備

### 2-4 医療安全対策

- (1) 薬機法等改正に伴う体制の整備
- (2) 薬局版ヒヤリハット事例収集分析事業への協力と会員薬局登録及び報告促進等調剤事故防止対策の徹底
- (3) 調剤過誤発生後の的確な対応と弁護士紹介
- (4) 東京都医療安全支援センターへの協力
- (5) 使用済み注射針回収事業の継続と今後のあり方の検討
- (6) 薬剤イベントモニタリング(DEM)事業への協力

## 2-5 都民への広報対策

- (1) 健康サポート薬局、かかりつけ薬剤師・薬局の役割等、各種事業の都民への周知
- (2) 「地域連携薬局」、「専門医療機関連携薬局」認定制度の都民への周知
- (3) 安全・適正な医薬品使用のための情報提供
- (4) 安全・適正な医薬品使用のための「お薬手帳・電子お薬手帳」普及啓発

## 3. 医療保険対策

### 3-1 医療保険対策

- (1) 医療保険等関連情報の収集と伝達
- (2) 適正な保険請求業務の指導
- (3) 「国民健康保険調剤必携」等保険調剤関連資料の作成・検討
- (4) 社会保険地区指導者等の育成及び協議会の開催
- (5) 保険薬局の経営等に関する各種調査
- (6) 後発医薬品の使用促進と後発医薬品データベースの充実
- (7) 地域医薬品使用実態調査の実施
- (8) 広域医療機関等、処方箋応需に係る諸問題への対応
- (9) 対人業務の充実に向けた医療DX化への対応

### 3-2 介護保険制度の適正な運用の指導と高齢者対策

- (1) 在宅薬剤管理業務の拡充のための調査・研修会の実施

## 4. 医薬品等薬事情報対策

- (1) 会員に対する安全・適正な医薬品使用の啓発のための情報収集・提供
- (2) インターネットを利用した各種薬事情報提供の推進
- (3) 都民のための「おくすり相談窓口」業務の充実
- (4) 都民のための「健康食品に関する安全性情報」提供のための情報収集と会員に対する健康食品の知識向上
- (5) 関係諸団体との連携、情報収集

## 5. 衛生試験所で行う試験検査対策

- (1) 随意試験：会員薬局の医薬品における調剤及び販売業務向上に資する医薬品試験及び情報提供
- (2) 計画的試験：試験所契約の薬局が製造・販売する薬局製剤の承認規格試験
- (3) 在宅医療での医薬品の品質確保
- (4) 日本薬剤師会が実施する全国統一試験(医薬品試験に係る精度管理試験)への協力・参画

## 6. 「図書企画・編纂・出版」事業

- (1) 会員に対する情報提供メディアとしての『都薬雑誌』の企画・編集
- (2) 『医薬品情報』・『DIレター』の発行
- (3) 調剤報酬関連の冊子の企画、編纂

## 7. 医薬品・情報管理センター事業への対策

- (1) 医薬品・情報管理センターを拠点とする薬事情報提供活動の推進
- (2) 薬局間の備蓄医薬品検索システムの検討
- (3) 後発医薬品の備蓄に関する情報提供
- (4) 医薬品・情報管理センターを核とした医薬品（一般用含む）分譲業務の検討
- (5) 医薬品・情報管理センター運営に関する支援

## 8. 「薬事衛生・公衆衛生」事業

- (1) 都民に対する一般用医薬品等の適正使用の啓発
- (2) 『薬事衛生自治指導教本』の作成と講習実施
- (3) 薬機法の定着のための研修会等の実施
- (4) 薬物乱用防止啓発事業への協力
- (5) 禁煙及び受動喫煙対策の周知徹底と啓発
- (6) 健康日本21（第二次）に基づいた、健康増進活動への協力と推進
- (7) 『薬と健康の週間』事業の実施
- (8) 自殺防止対策普及啓発活動への協力
- (9) スポーツファーマシスト、薬剤師のアンチ・ドーピング対応の推進と、各種スポーツ団体とのアンチ・ドーピング活動の協力推進
- (10) 感染症及びアレルギー疾患の医療体制対策の推進と協力

## 9. 組織強化対策

- (1) 会費のあり方を含めた会員増加策の検討
- (2) 公益法人制度への対応
- (3) 会員管理システムの維持と拡充
- (4) 都薬研修プラットフォームの構築及び活用
- (5) インターネット等を活用した本会と地区・職域薬剤師会間の連携強化
- (6) 職種部会(製薬部会・卸勤務薬剤師部会・行政薬剤師部会)活動への支援
- (7) 学校薬剤師活動への支援と地日本薬剤師会学校薬剤師東京ブロック連絡会議の実施
- (8) 覚書に基づく警視庁との薬物乱用防止教室の協同実施
- (9) 講習会・研修会実施における担当部署間の連携強化
- (10) 研修プラットフォームを通じた他道府県並びに地区薬剤師会との連携強化

## 10. 災害時における医療救護対策

- (1) 災害時等の医療支援体制への協力
- (2) 災害時医療救護に係る「災害時薬事活動リーダー」(薬事コーディネーター)の養成研修会の開催
- (3) 東京都地域防災計画(震災編)に係る「東京都災害薬事コーディネーター」他関係組織との連携整備
- (4) 防災訓練への参加協力

- (5) 大災害時における薬局BCP(事業継続計画)の活用支援
- (6) 災害時等における関東圏及び東京都地区薬剤師会との連携体制の構築
- (7) 東京都国民保護計画への体制整備
- (8) 改正感染症法(令和6年4月施行)の推進

### 1 1. 会員奉仕事業

- (1) 学術出版物等の斡旋
- (2) 制度融資の紹介・斡旋
- (3) がん保険の斡旋
- (4) 薬剤師賠償責任保険制度等の周知と新たな加入促進
- (5) 薬剤師資格証の取得に関する業務の推進

### 1 2. その他

- (1) 日本薬剤師会の諸施策に対する対応及び提言
- (2) 日本薬剤師会関東ブロック薬剤師会との連携
- (3) (一社)東京都病院薬剤師会との連携の更なる強化
- (4) (一財)東京都学校保健会・(一社)東京都学校薬剤師会との連携
- (5) 東京都並びに関連官公庁への協力と意見具申
- (6) (公社)東京都医師会・(公社)東京都歯科医師会との連携
- (7) (公財)日本薬剤師研修センター事業への対応
- (8) (一社)薬学教育協議会 病院・薬局実務実習 関東地区調整機構との連携
- (9) 都内薬科大学・大学薬学部との連携
- (10) 各関連団体・友好団体との交流・連携及びその強化
- (11) 委員会による都薬会館に関する情報収集
- (12) 会員サービスに対応した事務局機能の充実と質的向上
- (13) 地域薬局への薬学生就職対応事業の実施